

私のかげはし

楊 璐

「私は、一生懸命日本語を勉強して、日中友好交流の架け橋になりたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。」

これは、中国では、スピーチをする際の模範的な結末であるとされ、私もよく使っていました。でも、正直言って、「日中の架け橋」というのは、どういうものなのか全く分かりませんでした。それに、将来自分が「架け橋」になろうなんて、これっぽっちも真面目に考えていませんでした。ちょっと悪い学生だったみたいです。

日本に来てから日本語の先生にこの話をしたら、こんな風に言われました。
「もし、審査員の先生に、『具体的にどんなことをして架け橋になろうと考えていますか』と聞かれたらどう答えるの？」
『外交官になりたいです』と答えます
「じゃ、『外交官はどんなことをする仕事ですか』
「日中友好交流の架け橋です」
「じゃ、その架け橋を具体的に言うと？」
「・・・・・・・・」

「架け橋」ってなんなんでしょう。
「日中友好交流」ってなんなんでしょう。
私は、一体何のために、日本語を勉強してきたんでしょう。

私は、中学、高校と日本語を勉強し、今は、島根県立大学の留学生です。
大学入学前には、松江で日本語研修を受けました。そこで、出会ったのは、韓国人の留学生でした。みんな英語が下手だったので、「日本語しか共通語はない」という環境でした。しかし、なんとか日本語で、いつの間にか不自由なくコミュニケーションがとれるようになりました。
その時、私は、「日本語があって、よかったなあ」と心底思いました。その時まで、私にとって日本語の勉強は、学校でいい点数をとるための手段のようなものだったのですが、初めて、日本語を使って誰かと仲良くしようと頑張ってみました。

松江で日本語の研修をしてから、大学に入学し、寮の生活が始まりました。
「日本人とも日本語で仲良くなれるかなあ」と思っていたら、なんと、寮では、今まで全く習ったことのない日本語が使われていました。
「今日の授業スゲーねむたかった」
「ねたし」
「昼なにする？」
「めんどくせーなー」
「ラーメンにしようか」
「またかよ！」

こんな会話の時に、「今日の授業すごくねむたかったですね」なんて言ったら、一人で上品ぶっているみたいで、友達に仲間はずれにされるような気がします。

方言も時々使って、「何しちょう？」とか、「そうだが～！」「うちも行くけん、まっとって」「今困っとるんよ～」など言っています。親しみがわく感じがします。

こんな風に、「あー、やっと若者の言葉に慣れた」と思ったら、また問題が出て来ちゃいました。ある日、先生のお宅で夕御飯をご馳走になった時、思わず「うめー」と言いそうになり、慌てて「うまい」と言いました。そうしたら、「ようろさん、こういう時は『おいしい』というのですよ」とたしなめられました。

後で友達にこの話をして「やっべー」と笑いました。

大学で、「最近、日本人学生の日本語は乱れています。留学生の日本語の方がきれいだと感じます」とほめてくださる先生もいらっしゃいます。でも、実は、日本語の使い分けに頭を使って、とっても苦しんでいるんですよ。

私が、その使い分けに一番苦労しているのは、バイトです。

今、ハンバーガーショップでバイトをしています。ここでは、外来語を含む業界用語やお客様への敬語が、まるで早口言葉のようで、よく噛んでしまいます。

「こちらでお召し上がりになれますか」

「はい、チキンバーガー二つください」

「チキンバーガー、お二つでよろしいでしょうか」

「はい」

「ツーチキン、イートで」

といった具合です。

中国にいるとき、私は、将来「日中友好の架け橋」になろうなんて思ってもいませんでした。

「架け橋」って、行ったり来たりしてこそ、意味がありますよね。

日本に来て今、いろいろな人といろんな日本語で気持ちや情報を行ったり来たりさせることによって、私から周りの人へ橋を架けているような気がしています。勉強に使用している日本語、友達と話す日本語、バイトで使う日本語・・・私が、いろいろな日本語を使い分けているのは、相手によって形の違う橋を外に架けているということなのだと思います。

私は、自分の知っている中国のことを周囲の人に伝えていくうちに、いつの間にか、既に日中の架け橋になっているのかもしれない。もちろん、私は、決して外交官が扱うような大きなことは話せません。「私のかけはし」は、狭くってちっちゃい橋ですけど、一人一人の暖かさを感じて交流しています。

このような架け橋になら、きっと誰にでもなれるのではないのでしょうか。

実は、来日3年目の今、私の一番の親友は、韓国人の留学生です。彼女と私は、韓国語、中国語それぞれの癖まるだしの日本語で、楽しくおしゃべりしています。私は、これからも、日本語を話す人となら世界中で友達が作れるような気がします。「私のかけはし」は、日本語だったんです。日本語って国際語なんだあと実感しています。

今日、このスピーチを私が皆さんに架けようとした「かけはし」は、皆さんのもとに届いたでしょうか？

ご清聴ありがとうございました。